

# HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 古谷スミ子 幹事 諸星道治 会報委員長 鈴木和夫



## LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを

2014年～2015年度国際ロータリー会長  
ゲイリーC. K. ホアン

第1405回例会 2014年8月28日(木)(晴)

司会 梅原正美副幹事

点鐘 古谷スミ子会長

合唱 「手に手つないで」(酒井健一君)

提唱 「四つのテスト」(多田嘉之君)

ビジター紹介 田代茂夫様(国際交流協会会長) 望月國男様(秦野パサディナ友好協会会長)

祝誕生記念日 <会員>伊藤さん(8/28) <奥様・ご主人>淵脇さん 山本君 佐藤さん(9/1)

祝創業記念日 飯田君 淵脇さん 山谷さん(9/1)

### 会長報告



○ 皆様に大変ご心配をおかけいたしました。現在の医学は素晴らしいと実感いたしました。そして私も若くはないのだと言う事も実感しました。皆さん食べ物に対

する思い入れをお持ちだと思いますが、本日のカレー、家とは一味違うおいしいカレーでした。入院中の事で、8/13入院、14手術でしたが、13日の夕食に山菜おこわができました。母の作った山菜おこわを思い出しました。たくさん作って、必ず取りに来るよと言ってくれた母も今はもういません。夕食の山菜おこわを一口食べた時、母が私を応援しに来てくれたのだと思いました。手術が終わった後、手も足もちゃんと動いてくれるだろうか、と思いながら、20数年前、母も同じ病気をし、“お母さん”と声をかけた時、母は“手も足も動くよ”と答えてくれた事を思い出しました。私もそうでしたが、口に出さなかったけれど心配していたのだと…。何気なく毎週例会に出席していますが、この当たり前の生活がどんなに有難い事かと改めて認識しました。ご心配して頂いた皆様に感謝を申し上げます。

- 青少年交換学生、和田雄将君は大学生で、アルバイトでお金をためて、夏休み(8/26～9/1)に留学先のバンクーバーに遊びに行っています。4年経っても交流がある事は大変うれしいことです。帰ってきたら報告に来てくれる、とのことでした。
- タイへ行った時に私は英語が話せず、ハジをかいてしまいました。その時、中島さんが助けて下さいました。英語が出来ない東洋人の典型的な一人です。中・高・大学と英語の勉強をしましたが、会話はありませんでした。
- 今日は中学生英語スピーチコンテストについて秦野国

会員数	45名
出席数	35名
出席率	77.77%
前々回の修正	休会

メイクアップ	[事前] 相原(宏)君(秦野)
	伊藤さん 菊池君(秦野中) 飯田君(地区職業奉仕)

本日のプログラム	9月4日
	○ 卓話 酒井君
	○ 理事会

次週のプログラム	9月4日
	○ クラブフォーラム(消防自動車について)

際交流協会の田代さん、望月先生においで頂きました。お話しをして頂きます。私のように“N o, N o”と言わないような子供達、世界へ飛び立って行く子供たちを育てていきたい、これが国際平和と草の根の運動ではないかと思ひます。田代さん、望月さん、宜しくお願ひ致します。

## 幹事報告

【週報受理】 寒川

【受付文書】

○ 国際ロータリー日本事務局より 9月のレートのお知らせ 1ドル=102円

【本日の配布物】「ロータリーの友」

○ 本日、例会終了後、臨時理事会を開催いたします。

## スマイル報告

- 古谷スミ子さん 「皆さんにすっかりご心配をおかけいたしました。元気になりました。クラブよりお見舞いを頂きありがとうございます」
- 諸星道治君 「中学生英語スピーチコンテスト実行委員会、田代様、望月様、ようこそ名水ロータリークラブへ。本日は宜しくお願ひします」
- 米山君夫君 「スマイルいたします」
- 高橋幸雄君 「中学生英語スピーチコンテスト実行委員長、田代様、望月様、ようこそいらっしやいました。本日の卓話、宜しくお願ひ致します」
- 山口光弘君 「中学生英語スピーチコンテスト実行委員長、本日は宜しくお願ひします」
- 桐山晃忠君 「だいぶ涼しくなってきました。頑張って精進(ロータリー)していきましょう」
- 木村眞澄さん 「古谷会長、快気おめでとうございませう」
- 淵脇美代子さん 「主人の誕生祝い、創業記念のお祝い、ありがとうございます。夏の終わりにスマイルします」
- 中島賢治君 「スマイルします。古谷会長、退院おめでとうございませう」
- 北村俊和君 「会社創業お祝い、ありがとうございます」
- 西村隆之君 「スマイルします」
- 前 肇君 「スマイルします」
- 相原 学君 「しのぎやすい日が続いています。スマイルします。今日も宜しく！」
- 吉田久美子さん 「古谷会長、ご回復おめでとうございませう」
- 諸星常平君 「古谷会長、お久しぶりです。ますますお元気でなによりです。本日もたくさんのスマイルありがとうございました」

合計 42,000円

## 委員会報告

○ 酒井健一R財団委員長

昨年度(浄水器)、今年度(介護人)で地区より補助金を受けましたが、次年度の活動に対する説明会に8/23(土)に地区へ行ってきました。我がクラブはまだ決まっていませんで話を聞いただけにとどまりました。

○ 親睦活動委員会 原 郁夫副委員長

「歌舞伎座公演・歌舞伎座ギャラリー見学」について

日時 10/9(木) 7:45集合

集合場所 秦野商工会議所

会費 一人 13,000円

参加人数 先着40名(1家族2名まで)

※参加申し込みの出欠をとっています。申込みは早めにお願ひ致します。

○ 国際奉仕委員会 高橋幸雄委員長

フィリピン・図書館への寄付として先週募金箱をまわしました。総額52,000円が集まりました。国際奉仕よりプラスして届けてきます。計画の報告が遅く、もっと多くの方に参加して頂けなく、申し訳ありませんでした。4名で明日より4日間、行って参ります。

## 卓話

○ 田代茂夫国際交流協会会長

今日は私どもが進めている中学生英語スピーチコンテストについてお話しさせていただきます。望月先生はパサディナ友好協会の会長でもあり、スピーチコンテストの審査員をして頂いています。パンフレットを配布致しました。H23年よりスタートし、一番多い応募数です。

今年度はパサディナ市との友好締結50周年にあたり、記念事業の一貫として上位2名をパサディナへ派遣する予定になっています。例年は韓国の坡州市に英語村があり、そちらに3名を派遣しています。運営の費用はほとんどが派遣に当てられています。

応募する同期は海外で英語の力を試してみたいと言う希望がほとんどです。この為にご協力を頂いておりますが、今後とも支援宜しくお願ひ致します。

○ 望月國男パサディナ友好協会会長

名水ロータリークラブの皆様、こんにちは。皆様方の誠意と愛が結集して、中学生がパサディナに行かれる機会が出来た事、大変うれしく思っています。秦野市の国際交流、パサディナを中心にお話しさせていただきます。

秦野市とパサディナとは今年で交流50周年を迎えます。現在、50周年の記念行事に取り組んでいる所です。

4月に市民が9名きました。50周年の式典を開催できました。11/11から市民中心でパサディナ市を訪問予定です。来年三月には英語スピーチコンテスト上位2名にパサディナに行って頂きます。また、中・高校生も募集して同行します。野球チームも25名で行って、親善試合を行った事もあります。そして記念誌を作成中です。長い間の交流で現在を迎えていますが、今後とも交流を深めていきたいと思ひます。

秦野市には外国人が2989人(8月末現在)です。中国479名、ブラジル473名、ペルー410名、以下、ベ

トナム、韓国、中国等の人々が在籍しています。昨年の同時期と比べると275名の減少です。秦野市内の小学校、中学校に280名が在籍。ブラジル人が多いです。

秦野市には国際交流関係の組織いくつかあります。国際交流協会、S60年発足。当時は外国人350名しかいませんでした。この時、カンボジアの父親が奥さんと子供を殺害して新聞にも大きく取り上げられた時です。来年30周年を迎えます。

パサディナ友好協会はS54年に発足しました。坡州市友好協会は来年で10周年を迎えます。サッカーの交流をし、隔年で行ったり来たりしています。

国際交流協会では外国語教室、各国の料理教室を実施しています。姉妹都市提携を最初に行ったのはアメリカのアイゼンハワー大統領です。人と人の触れ合いがこれからの世界平和には重要であると積極的に進めました。日本では長崎市とミネソタ州のセントポール市です。

秦野市はS39年、神奈川県で4番目に姉妹都市提携を行いました。この歳は東京オリンピック、新幹線開通、また、海外に自由に行かれるようになったのもこの歳で、国際化元年とも言われています。

スポーツの世界ではS39年、王貞治がホームラン55号を打った年。高見山(ハワイ出身)が日本の国技に入門した年。東京銀座のみゆき族、ペギー葉山の「学生時代」、都はるみの「あんこ椿は恋の花」が流行っていました。このような年に全国に先駆けて世界に目を向けたのです。先人の先見の目には感謝をしたいと思います。

秦野市はS39年11月に議会で提携が決定。当時は「アメリカは人種差別があり、大変危険だと思っていたが、今後はアメリカと仲よくやっていかなければならない」との考えで決まったとの事でした(当時の和田善太郎議員)。

S39年～53年までは市長の親善の行き来や、留学生がちょっと寄ってみる程度でしたが、S53年に現在の古谷市長を中心に武者修行に行ってみようと、2月にパサディナを訪問しました。それがきっかけで交流が始まりました。

秦野市の子供は外国との交流を多く行っています。当初は英語でスピーチできる子供はいませんでした。今は“NO”と言う子供は少なくなっています。

秦野市は韓国の坡州市とも交流を行っています。本当に上手に交流が行われています。これは他の市に誇れる財産だと思います。秦野市は心の交流を大事にしてきました。外国の人と感動を共有、感謝、やさしさ、愛を共有する事を大事にしてきました。このような事が根幹になって現在の交流があるのだと思います。



◎古谷スミ子会長 → 協賛金贈呈



==ラオスへ消防自動車到着==  
ラオス・ジェンカン県庁前にて撮影

